

2024年5月10日

各 位

上場会社名 **ダイトーケミックス株式会社**  
代 表 者 代表取締役 執行役員社長 住友朱之助  
(コード番号 4366 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 執行役員 岩崎 正  
T E L (06)6911-9310 (代表)

## 中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2024年度から2026年度までの3年間の中期経営計画を策定しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2019～2023年度中期経営計画の総括

当社は、2019年度から2023年度までの5年間を対象期間とする中期経営計画を策定し、経営課題に取り組み、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいりました。その達成状況は以下のとおりです。

##### 1) 経営目標の達成状況 (連結)

(金額：億円)

年 度	各年度 実績					2023年度 目標 ※		
	2019	2020	2021	2022	2023	当初	修正	再修正
売上高	124	139	161	163	158	150	200	190
経常利益	6	12	17	12	▲7	8	13	6
経常利益率	5.3%	8.8%	10.9%	7.8%	▲4.9%	5%以上	6%以上	3%以上

※当初2019年5月7日発表、修正2022年5月10日発表、再修正2023年5月10日発表

2021年度までの3年間は、特に半導体用感光性材料、フラットパネルディスプレイ周辺材料が新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークやオンライン授業によるパソコン需要の増加、5G高速通信設備、データサーバー向け、車載用の増加などにより好調な業績を持続し、2021年度に当初目標を達成いたしました。

そこで、2022年度に中期経営計画の目標数値を積極的に見直しましたが、一転してディスプレイ需要の鈍化に加え、半導体需要の低迷が続きました。医薬中間体、写真材料、環境関連事業は堅調に推移したものの、電子材料の販売減少を補うことはできませんでした。また、円安等による原材料費の上昇、エネルギー価格の上昇、福井工場増産投資による減価償却費の増加、持分法適用関連会社(DAITO-KISCO Corporation)の減損処理や株式評価損などの影響で利益を圧迫し、2023年度の再修正目標にも大きく届きませんでした。

## 2) 経営課題の達成状況

### ① 売上拡大と新製品開発のスピードアップ

- ・ 2018 年度売上実績 120 億円から 38 億円増加
- ・ 開発新製品売上実績は 2018 年度から 1.9 倍（15.7%）に増加
- ・ 5 年間の研究開発費 53 億円

### ② 全体最適での徹底した生産性向上

- ・ 5 年間の平均労働生産性比率（2018 年度比）1.1 倍に向上

### ③ 設備投資を充実させ、安全、品質、生産性向上を推進

- ・ 5 年間の設備投資額 76 億円
- ・ 重大事故発生ゼロの達成

### ④ 人材育成・採用、社員教育の充実

- ・ 5 年間の社員採用 95 名
- ・ 5 年間の社員教育費 53 百万円

### ⑤ すべてのコスト要素にメスを入れたコスト削減

- ・ 廃液処理費用 43 百万円増加（売上比 8%増加）
- ・ 販売管理費 28 百万円増加（売上比 17%削減）

### ⑥ グループ力を強化し、シナジー効果の最大化

- ・ 日本エコロジー株式会社は環境事業が堅調に推移
- ・ 持分法適用関連会社（DAITO-KISCO Corporation）は 2019 年火災事故で仁川工場を閉鎖  
2020 年に新工場として益山工場が稼働開始、2022 年に益山第 2 工場の稼働開始

## 2. 2024～2026 年度中期経営計画の概要

当社は、製品・技術・サービスの提供を通じて、快適でより豊かな社会づくりに貢献することを経営理念に掲げ、事業活動に取り組んできました。今後も、この取り組みを様々な社会課題の解決に繋がる活動であると位置づけ、持続可能な開発目標（SDGs）の達成により、サステナブルな社会の実現に貢献していきたいと考えています。

引き続き、経営理念・行動指針に基づき、持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、2026 年度に売上高 200 億円の達成を目指して取り組んでまいります。

### 1) 経営理念、行動指針

#### 経営理念

わたしたちは、「快適でより豊かな社会づくり」を合言葉に「一歩先をゆく、スペシャリティ・ファインケミカルメーカー」を目指します。そのために、「グッド マインド」「グッド パートナー」「グッド テクノ」を大切にしてください。

#### 行動指針

わたしたちは、人間性の尊重を基本におき、「すべての人を顧客と考え」「創造と革新に挑戦し」「迅速に対応する」ことを約束します。

## 2) 経営方針、経営課題

### 中期経営方針

社会、顧客が求める一步先の製品・技術・サービスを提供することで更なる信頼を獲得し、安定的・持続的に成長するスペシャリティ・ファインケミカル企業グループを目指す。

1. コーポレートガバナンス、コンプライアンスの充実・強化、製造、製品の環境・安全（レスポンシブル・ケア）を重視したCSRに取り組む。
2. 「ものづくり」メーカーとして、安全第一を基本に置き、QCDを大切に迅速かつ丁寧に対応し顧客満足を上げていく。
3. 既存技術の総合力強化と新規技術を習得し、新規受託品、自社製品の開発を進める。
4. 健全な財務体質を向上していくとともに、資源の有効活用を図っていく。
5. 困難な課題にもあきらめずに挑戦し、乗り切っていく。

### 中期経営課題

1. 売上拡大と新製品開発のスピードアップ  
目標：当社売上高 190 億円、うち開発品 30 億円
2. 設備投資の充実：DX推進、AI活用、自動化等による安全、品質の向上と省力化  
目標：3年間で総額約 30 億円の設備投資
3. 全体最適化での徹底した生産性向上、コスト削減  
目標：平均労働生産性比率 1.2 倍（2023 年度比）
4. 人材採用と育成、健康経営の充実  
目標：3年間で約 30 名の採用、教育費 65 百万円
5. 2030 年までにGHG排出量 15%削減（2019 年度比）
6. グループ力を強化し、シナジー効果の最大化

## 3) 経営目標

《 2026 年度連結経営目標 》

売上高 200 億円  
経常利益 13 億円  
経常利益率 6%以上  
EBITDA 25 億円（当社単体）

《 2030 年度ありたい姿 》

250 億円  
25 億円  
10%以上  
35 億円（当社単体）

## 4) 分野における事業戦略

《化成品事業》

### 1. 電子材料分野

- ・先端フォトレジスト用材料の受託拡大
- ・i線フォトレジスト用感光性材料の増産
- ・カラーフィルター用材料、有機EL材料の受託拡大

2. イメージング材料分野
    - ・フィルム用材料、記録材料の受託拡大
    - ・インスタントカラー用色材の増産
    - ・インクジェット用色素の安定供給
  3. 医薬中間体分野
    - ・既存製品の安定供給
  4. その他化成品
    - ・既存製品の安定供給と顧客拡大活動
  5. 新規事業創出
    - ・既存分野以外にも分野拡大、顧客拡大
    - ・自社製品の開発促進
- 《環境関連事業》
- ・リサイクル分野の強化

#### 5) 資本政策と株主配当方針

当社は、健全な企業経営に努めると共に、企業価値を高めることによって、株主の皆様へ利益還元を図っていくことが最も重要であると考えております。また、利益配分につきましては、安定的な配当を念頭におき、当期の業績、配当性向、今後の事業展開に備えた内部留保など総合的に勘案して決定することを基本方針としております。

#### 《見通しに関する注意事項》

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

以 上